

令和3年度 志教育実践事例報告

宮城県仙台三桜高等学校

第2学年 探究学習「逆境に負けない力の探究」

Resilience Quest ー地域連携型探究学習ー

○ ねらい・目標

- ・地域社会との関わりを通じ、社会貢献の視点を養う。
- ・地域の各教育機関等の協力の下、専門的な学びの場面や各分野の抱える諸問題に接し、探究心や考察力を直接的な体験を通して高めさせる。

○ 実践状況

日付	活動内容
4月20日(火)	訪問先決定、探究テーマ設定
4月27日(火)	探究テーマ決定
5月25日(火)	校外学習①(外部教育機関)
6月15日(火)	情報収集・考察
6月29日(火)	情報収集・考察
7月6日(火)	校外学習②(外部教育機関)
7月13日(火)	プレゼン作成・情報収集・考察
8月31日(火)	校外学習③(外部教育機関)
10月10日(土)	中間発表 【オープンキャンパスでの授業公開を行わなかったため中止】
10月19日(火)	プレゼン作成・情報収集・考察
10月26日(火)	校外学習④(外部教育機関)
11月9日(火)	発表準備
12月3日(金)	発表準備
12月7日(火)	発表準備
12月14日(火)	予選会
1月11日(火)	本選準備・1年の振り返り
1月25日(火)	本選

(*感染予防の観点から、校外学習の一部訪問先はリモートで実施)

・生徒は、自身の希望する学問分野（生活デザイン学、ビジネス学、工学、建築学、環境学、経済学、社会学、文学、生物学、考古学、福祉学、国際理解）に分かれ、地域の教育資源との連携による探究活動を実施した。連携施設は、東北工業大学（ライフデザイン学部、工学部、建築学部）、仙台文学館、仙台市野草園、地底の森ミュージアム、鹿野地区町内会、宮城県国際化協会の6機関。専門家並びに現場の方々に、探究のテーマ決定、課題の絞り込み、発表までの準備など、包括的にかかわっていただいた。5月、7月、8月、10月の計4回にわたり各施設を訪問し、現場での直接体験に基づいて、探究を深める活動を実施した。

・今年度連携を予定していた関係機関の一部（東北工業大学、宮城県国際化協会、地底の森ミュージアム）とは、新型コロナウイルス拡大の状況を踏まえ、オンラインで繋いで実施した。各分野の専門性を活かした講義・講話および新型コロナウイルス対応に関する情報提供を受けた。（8月31日・10月26日）。

・12月に訪問先・学問分野ごとのプレゼンテーション（予選会）を実施した。予選会で代表となった班は、手書きで作成していたプレゼン資料をパワーポイントで内容を再構築し、1月の代表発表会に臨んだ。代表発表会では、生徒投票と教員審査によって、優勝・準優勝グループの選出および指導と助言を行った。当初、各連携施設から審査員を招き指導助言をいただく予定であったが、校内での発表とした。

・代表発表会は1年生も評価に参加することにより、次年度へ向けての足掛かりとした。

・例年1・2年生を体育館に集めて発表会を開催しているが、今年度は感染対策として放送室からZoomと放送機材によるオンライン配信での発表とした。

・オープンキャンパス（10月10日）の際に、探究学習の様子を公開する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け授業参観を中止とした。

「代表発表会の様子」



○ 成果

・感染対策のために、リモートでの講義となったグループが数多くあったが、一人一人が外部講師から直接的に指導を受けたり、話を聞けたりしたことで、むしろ個々の学習機会の増加につながった。また、提示されたデジタルデータを使用したPCに保存して考察を深めることによって、紙媒体よりも現実感を持った情報に触れることができたり、データの加工が可能になったりした。